

1. 件 名 : 「リサイクル燃料貯蔵株式会社による使用済燃料貯蔵施設の事業
変更許可申請に係るヒアリング（14）」
2. 日 時 : 令和5年12月20日（水）16時00分～16時15分
3. 場 所 : 原子力規制庁 8階会議室(TV会議により実施)
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
核燃料施設審査部門
松本企画調査官、尾崎安全審査官、伊藤安全審査専門職
リサイクル燃料貯蔵株式会社
赤坂常務取締役 他11名
5. 自動文字起こし結果 : 別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場
合があります。
6. その他
なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:05	ただいまから 12 月 20 日のRFSの変更許可に関するヒアリングを始めます。
0:00:11	初めに出席者の確認をしたいと思います。
0:00:15	図、これはまずある石松本社お願いいたします。
0:00:19	はい。RFSむつ本社です。赤坂センター長、篠田技術安全部長。
0:00:26	タカハシ町保全部長、大木浦脚設計製造部長、その他、
0:00:32	嫁 4 人の計八名での参加です。以上です。
0:00:40	続いて東京事務所お願いいたします。
0:00:43	はい。東京事務所でございます。ウェブで参加しているワタナベ含めまして私と東京事務所長の次第、
0:00:53	含めてですね全員で 4 名でございます。
0:00:59	了解いたしました。それでは本日の参加者ですが無痛が八名、東京本社、東京事務所が 4 名の合計 12 名でよろしいでしょうか。
0:01:10	はい。RFSむつ本社です。その通りです。よろしく申し上げます。
0:01:15	了解いたしました。
0:01:17	規制庁側の出席者ですが、マツモトオザキイトウの 3 名になります。
0:01:30	すみません規制庁野崎ですが、
0:01:33	あれっていう画面、
0:01:37	本日っていうか先週から幹部なり委員にRSの変更許可の説明をしているところですが、今日 2 時過ぎぐらいですね石渡委員のところの説明に行ったときに、
0:01:53	今画面共有してますですねものを含めて、ちょっと 2 点問題意識、
0:02:00	ていうかコメントがあったので、そのコメントをちょっとお伝えした上で、また改めてですね回答しなければいけないのであれ菅野回答を教えてくださいという趣旨で、今回、急遽、ちょっとヒアリングを持たせていただきました。
0:02:19	まず 1 点目はですね、すみません。まず、今これ、この表とは関係なくって、単純な話ですね、
0:02:31	削除する、今回その変更許可で削除するタイプ 2 の大型キャスクと、真木局間のまま残すタイプ 2 について説明したところを、
0:02:44	そもそもその削除するタイプ 2 というのは
0:02:50	このこのようにってか、現在実在してるのかと実在してるんであればそれを削除すると実害が起きるのではない生じるのではないかっていう話がありまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:00	先ほどちょっと電話でその話を古谷さんに話したところ、設工認の資料で、
0:03:07	それを説明する資料があるという話は聞いてメモはしてるんですが、いかんせんちょっと今日、担当のタナカなりもおらずですねちょっと資料が見つけれなかったの
0:03:21	タイプ 2 と 2 の違いみたいなものわかる資料ですね設工認の設認のこの 00 っていう話を聞いてるんですがそれをちょっともう 1 回、再送いただけますでしょうか。
0:03:34	その上で、電話で聞いたり海田と、手伝いはしてるが、現在の許可上はそのタイプには
0:03:45	1 種類の燃料しか収納できないので、その三種類収納できる三重に、もう家に、その許可内容を集約することによって
0:03:57	何ら実害は生じず、その方がより効率的だみたいな理解でいるんですがまずその理解で間違っていないかっていうのと、その参考資料があればちょっと最初いただきたいということがまず 1 点目ですが、いかがでしょうか。
0:04:14	はい。RFS 物本社の古谷です。先ほどご説明した通りですねタイプ 2 というのはもう我々としては実現しないと考えています。その上で、補足説明資料については追って
0:04:26	送付をしますのでよろしくお願いします。以上です。
0:04:30	はい、ありがとうございます。
0:04:32	ちょっとそれを待ち知ってますちょっと今日中に送っていただければ助かります。2 点目はですね、これ除熱解析、今回追加するキャスクを貯蔵施設に貯蔵した場合の除熱解析の表について、
0:04:49	ちょっとコメントが入ったというもので手書きは委員が直接書いたものを先ほどのドイキタノでそれをそのまま共有してます。
0:04:58	ちょっとここにメモしてない話で 1 点あるのか、
0:05:04	そうですねまず最初この表を見たときに、石渡委員が言ってたのは、
0:05:14	建屋内雰囲気温度っていうのは 41 度ですよと。
0:05:18	他方でその下の貯蔵建屋のその壁面の側壁だとか支柱とか、床とか天井回りっていうのは 50 数度ぐらいで、ここに
0:05:32	10 数度ぐらいの、その温度の乖離があるんですが、それはなぜか。
0:05:39	という話があり、それはそもそも何か、本来その温度っていうのは、
0:05:48	結局は同じような温度になるんじゃないのかな、なんで差があるんだっけみたいな、その問題意識があってですねそこをうまく答えられなかつ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	たのでそこについて何らか説明できる材料を共有いただきたいというのが、1点目。
0:06:08	です。2点目はこれはそういう話をしてたら届いた資料なので、これそのままの話で、
0:06:15	この表を見ていただくと、Bっていうのが、タイプⅡとタイプ2の天井と天井張り、
0:06:26	が、
0:06:29	ガイシヨク逆転してる。
0:06:32	タイプ2では、これ、何だっけ。
0:06:38	ちょっと見えない。
0:06:40	タイプでは、現状の方が、針より高いけど、逆にタイプ2だと、店長会の方が、
0:06:50	天井より温度が高くなって、逆転してるのはなぜかって言うと、あと天井張り、一番下の列の数字が
0:07:03	キャスクの発熱量に、その逆相関というか熱量が高いのが一番低くて、熱傷が低いのが一番高くなって、
0:07:16	それは何でなんですかって言う話。
0:07:19	が、出てますと、問題意識としてはこれ本当に合ってるのかと、解析が間違っていないのかと。
0:07:27	いう話をされましてそれについて、
0:07:35	石渡委員に再度説明をしに行く必要があるというのが今回のきよ、今回のってか今日先ほど説明したときのコメントでしたと。
0:07:46	まずはちょっと今日、この問題意識を共有させていただき、改めてちょっと早いタイミングで回答をお願いしたいと思っておりますと、回答にあたってはちょっと我々も断片的な補足説明資料もらってるんですけど、
0:08:04	きちんと解析結果を十分見てるわけではないので今一度除熱解析のですね、内容をちょっと再確認していただいた上で
0:08:16	こういう理由でやってるこういう理由で、
0:08:19	間違っていないんだみたいなですね、理由、説明を
0:08:23	していただきたいと思っております。
0:08:28	以前伊勢はもうちょっと今、急いでいる話なので、明日のヒアリング可能な時間体がですね、明日の午前中とか明日の
0:08:41	何だっけ、4時半、
0:08:43	ぐらいの開きがあるんですが、まずその問題意識、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:49	今述べた問題意識に対して、それぐらいの時間体で対応可能でしょうかどうでしょうかというのをちょっとまずお伺いしたいんですが、いかがでしょうか。
0:09:01	はい、ありがとうございます。あれです六つの本社の高橋でございます。今いただきましたお話について衛藤至急ですね社内で確認してから、
0:09:11	ご回答を差し上げたいと思います。ヒアリングを明日の午前中か、16時半からということで、対応、
0:09:22	させていただくんですがちょっといただいた内容のですね我々の中での分析も含めますとちょっと、
0:09:28	ちょっと希望になりますができるば16時半からのお時間を、それはないかなと思うんですが、はい、結構です。はい。
0:09:37	はい。
0:09:38	ひとまずちょっと問題意識を、これでご理解いただけるのであれば、今日はちょっとその問題意識だけ共有するという形にさせていただいて、ちょっと明日、16時半。
0:09:51	年度で再度ちょっと回答を教え、説明いただければと思いますがよろしいでしょうか。
0:09:59	承知しました。ちょっとだけわずかな時間ですけどちょっと社内で今、認識を確認したいのでちょっとだけお待ちくださいすいません。
0:10:06	規制庁松本です。1点補足してもよろしいですか。
0:10:11	あれですタカハシですお願いいたします。はい。一つ目のいわゆる建屋内雰囲気温度と、建屋類ですね、ここに温度の開きが10度ちょっとほどあると。
0:10:26	いう話に関しましては、
0:10:28	私もちょっと戻ってきてからですね、補足説明資料等ちょっとぱらぱらと見始めてもう一度再確認してるところなんですけども、
0:10:39	場合によってはそのインプット条件とかですね、あとは解析において多分これ再報のピーク温度を拾ってきてるんだと思うんですけども、
0:10:50	定常評価になるまでの推移みたいなものも、ちょっとどこまで出せるかどうかってのはわからないんですけどどんな感じで温度が推移してくのか、この部分の温度をこれは拾ってきてるもんですってところのものも、
0:11:03	今後、解析を調べていく中で、そういったところも説明できるようなですね、ぜひ、ご説明していただければと思います。よろしく申し上げます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:17	はい、RFSむつ本社、高橋でございます。今いただきましたお話は、例えば、キャスク表面からいろんな電熱形態、
0:11:29	電動ですとか、対流ですとか、会社によって、側面ですとか側壁ですとか支柱とか、点字天井ですとか伝わると、また雰囲気温度についても、熱が伝わっていくと、
0:11:44	伝わるその何ていうんすかね伝わるその
0:11:48	推移といいましようか。はい。そのメカニズムなんかを使って、例えば、結果が定常状態になるとこういう温度に落ち着くんだよっていうそこまでのコウ。
0:11:58	お話がつくれるといいなという。おっしゃる通りです。はい。
0:12:02	ちょっと検討させていただきたいと思います。よろしくお願ひします。はい。
0:12:07	以上です。
0:12:58	お待たせしましたあれですタカハシです。
0:13:01	今先ほどまでお話した通りですね、大変申しわけないんですが約1日ほど20時間ほどお時間いただいて、整理した後、16時半アサノ19時半からの打ち合わせで、
0:13:13	ヒアリングにおいて5時、準備した内容についてお話したいと思ひます。
0:13:19	以上です。はい、ありがとうございます。規制庁松本です。どうもありがとうございます。繰り返しになりますけれども、今共有している画面を見ていただければ、もう一目瞭然なんですけれども、
0:13:32	パツとミイ幾つかちょっと疑義があるよね、赤文字で書いてる、その結果、計算に誤りがあるのではないかというふうな疑念もちょっと持たれてるところもあるので、
0:13:45	しっかりちょっとすいませんが確認していただいてですね、その解析も含めてですけれども、おかしければ、場合によっては間違っていましたというのはあるのかもしれないし、もし間違っていなければ、
0:13:57	きちんとこれに対して回答できるような説明をしていただくということになると思ひますので、よろしくお願ひします。
0:14:05	アカサカですすいませんお手数をかけて申し訳ございません。
0:14:08	磯アノおっしゃる通りですね数字に間違いはないけどまず確認させていただいて、さっき言った傾向、そこら辺がですねどのような形で説明できるか、そこら辺をですね我々、確認してですね、明日ご説明できればと思ひますのでよろしくお願ひします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:24	はい。どうもありがとうございます。ありがとうございます。お願いします。
0:14:28	こちらからはもう以上なんですが、もうこれでご理解いただけるのであればヒアリングを終わるかと思いますがよろしいでしょうか。
0:14:36	はい。お願いします。
0:14:44	規制庁糸井です。それでは本日のヒアリングはこれで終了させていただきます。ありがとうございました。ありがとうございます。ありがとうございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。